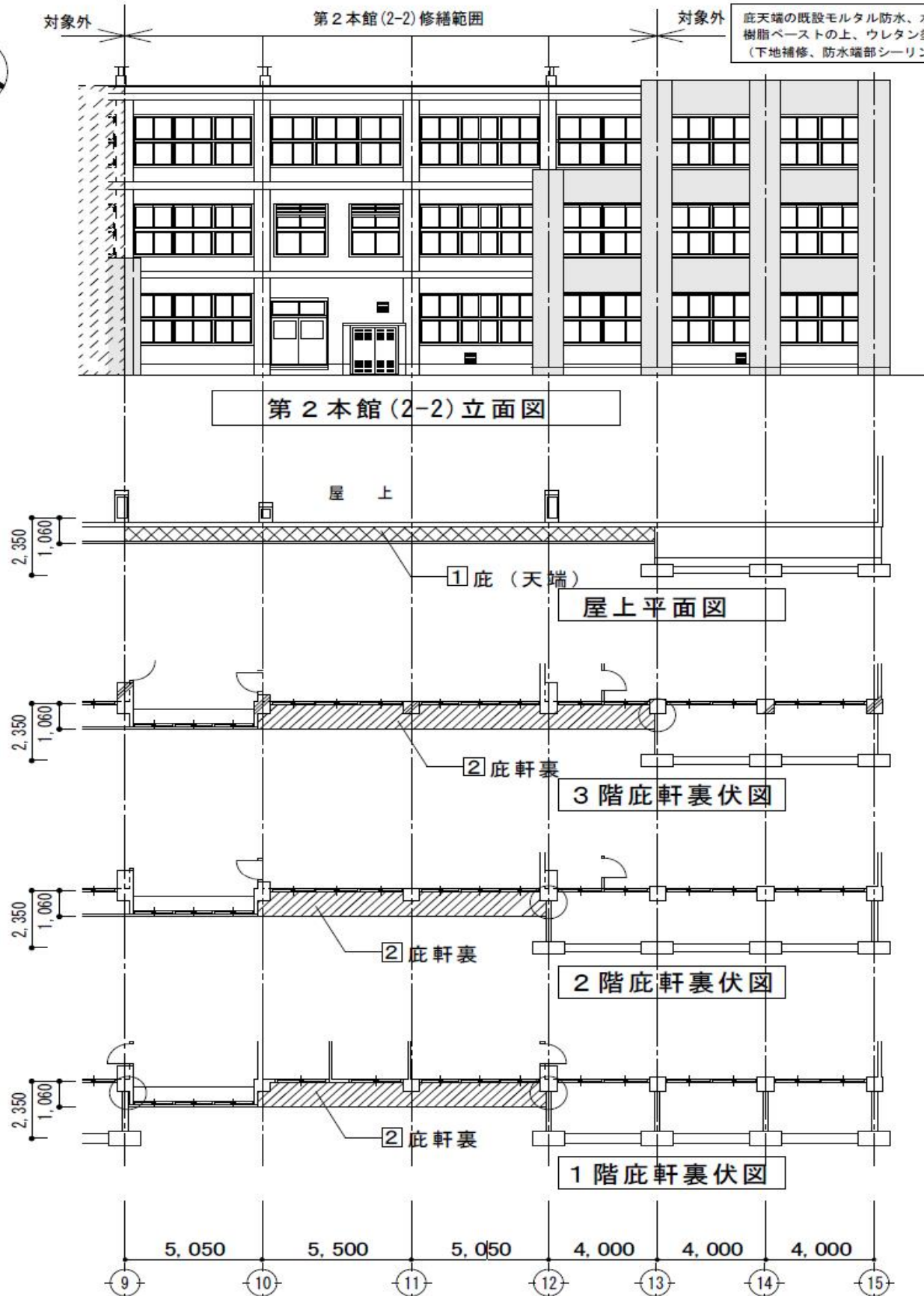




現況仕上

- ① 底天端 防水モルタル
- ② 底軒裏 既設リシン吹付

改修仕上

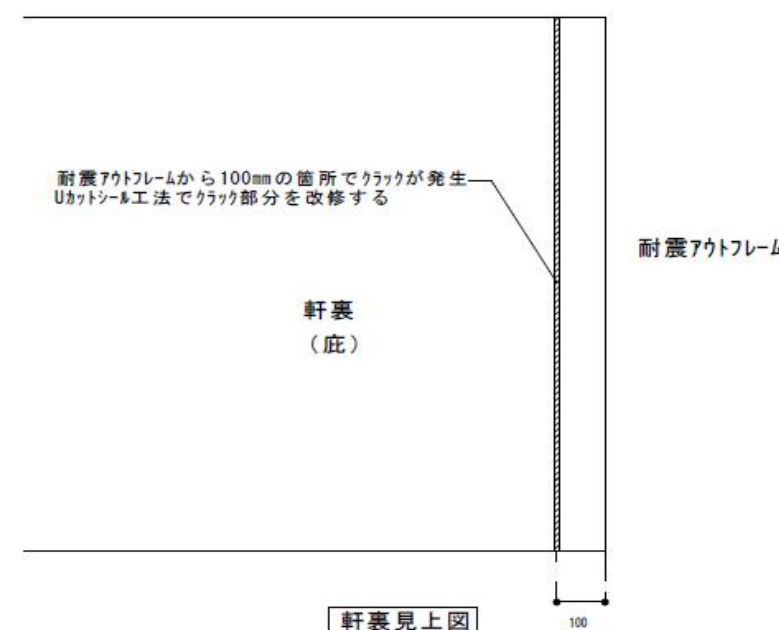
- ① 既設底天端 水洗い（10～15Mpa）、樹脂ペーストの上ウレタン塗膜防水（X-2）改修（既設防水クラック補修（シーリング擦込み）、端部シール処理、ドレン廻り処理共）
- ② 底軒裏 水洗い（10～15Mpa）、劣化部補修、C-1の上 リシン吹付改修

※劣化部補修は、施工に先立ち底裏、見付の劣化部分の劣化調査（目視・打診・マーキング）を行い報告書を作成する。
 ※劣化改修の施工にあたっては、下記改修工法を基本として施工計画書を作成し、担当者の承諾後施工のこと。

劣化部補修凡例

凡例	内容	数量	補修方法
②	クラック（1.0mm未満）	16m	自動低圧樹脂注入工法
	塗膜浮き	軒裏面積の約20%を見込む 5.0㎡	水洗い・ケレン工具による塗膜除去
	モルタル浮き	軒裏面積の約30%を見込む 8.0㎡	アンカーピンニング工法（指定部）
	欠損（100mm×100mm）	8箇所×1.2＝10ヶ所	エポキシ樹脂モルタル充填
	クラック（アウトフレーム接続部）	1mの4箇所を見込む 4m	ウットシル工法

耐震アウトフレーム接続部 軒裏詳細図 ○の凡例部分



第2本館棟(2-2)南面底裏修繕図